

SVA 深層探究者

三日月フクロウ



姿の意味：一つの結論を急がず、複数の仮説を内側で検討する姿

強みになり得る場面

- ・ 前提の食い違いを見つける
- ・ 長い構想を論点に分ける

行き違いが起きる場面

- ・ 調べる範囲が広がり、共有が遅れる
- ・ 説明の正しさを優先し、相手の困りごとを聞きそびれる

仕事・学び

企画の初期調査や仮説の比較では、考える時間と検討基準があると取り組みやすい。完成前のメモも共有すると、周囲が協力しやすくなります。

近いタイプとの違い

MVAは一人で考えるか対話するかの偏りが小さい。SGAは可能性より具体的な事実を先に扱う。

一人で考える・刺激を抑える方へ / 未来の可能性・構想を先に見る / 判断の根拠・整合性を重視

新しい考えに出会うと、まず一人で前提と仕組みを調べたい。将来の可能性を描きながら、説明が筋道立っているかを確認めるという組み合わせです。

友人・パートナー

考える時間を必要としているときは、その理由と返事の時刻を伝える。沈黙だけで理解してもらおうとせず、相手の希望も言葉で確認します。

家族・子どもとの関わり

一人で考える時間を、相手への拒否と誤解されないよう説明する。家族や子どもにも本人の希望を聞き、同じ過ごし方を求めない。

小さく試すこと

調べたいことを三つに絞り、翌日までに仮説を一つ人に説明する。

デザイナーへの指示

頭上でつながる三日月形の羽冠と、層をなす翼。翼を閉じていても視線は明確。賢者の帽子や書物、上位者の装飾を付けない。